産業委員会

市の経済文化部、農林部及び農業委員会の所管に属する事項に対応する委員会です。
（４月１日からの所管です。）

◎近藤吉一郎　○河本英敏
秋山幸則、川崎　修、庄司勝義、竹内邦彦
中島完一、森岡和雄

今期定例市議会に付託された議案五件、報告二件について審査。

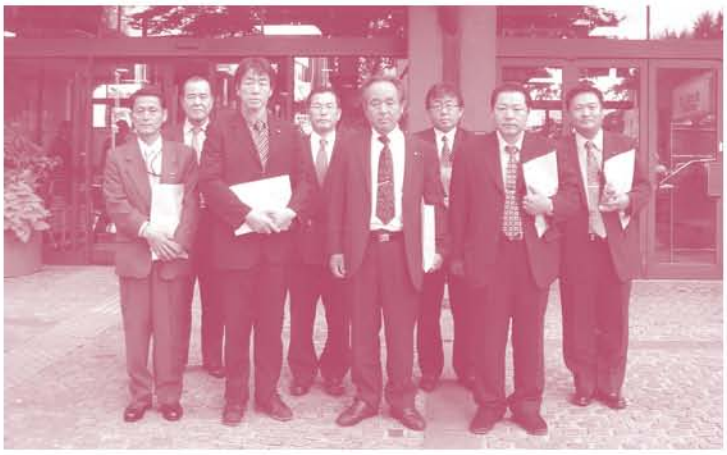
専決処分報告第三号及び報告第四号は全員一致で原案承認。

議案第百十一号及び議案第百十三号について、岡山県物流施設誘致促進補助金は建築確認申請の認可の遅れにより減額補正、新年度当初予算にて再計上との答弁。工期の遅延は景気低迷にも影響が出る。都市建設部と連携し、国等関係機関に働きかけるよう意見が出された。農作物鳥獣被害防止対策事業補助金減額では、新年度での対応を求める。特に鹿の被害が増加傾向、需要増加にも対応するよう要望し、いずれも全員一致で原案可決と決した。

議案第九十号及び議案第九十二号について、中心市街地活性化協議会準備会負担金について予算・指導体制等の説明を求める。活性化基本計画の策定は、再開発事業のありかた委員会で協議、検討を行いたい。現在、負担金を予算計上しており、商工会議所、ＴＭＯ、住民等の意見を集約し、行政としても参画していきたい旨答弁があった。学校給食の地産地消については、地域の定義を明確にする、目標年度を持って取り組む、部分的な食材から取り組む等の意見が出された。また、支所間ごんごバスの実態調査を行い混雑解消の対策を講じるよう要望。その他、種々質疑や意見が出されたが、いずれも全員一致で原案可決と決した。

そして議案第百四十六号は横野滝駐車場用地として土地開発公社より取得。全員一致で原案可決。

最後にＪＲ津山線脱線・横転事故「鉄道事故調査報告書」及び鉄道部体制見直しについて、安全対策のため調査報告内容の早急な履行、ローカル線維持のため体制見直しを働きかけるよう求め、内部、関係団体と協議し、ＪＲに対し強く申し入れたいとの答弁があった。



視察日程
平成十九年十月十五日(月)～十七日(水)

場所と目的
宮城県仙台市
●「アグリビジネス支援事業及び地産地消事業」について
岩手県花巻市
●「トータルアドバイザー事業」について
岩手県盛岡市
●「盛岡ブランド開発事業」について

アグリビジネス支援事業は、農業及び食品関連産業の活性化、食生活の充実が目的。各分野ニーズを把握、商品開発に取り組み、結果、消費者満足、農業所得向上、地域の活性化へつなげている。

トータルアドバイザー事業では、農政課とＪＡとのワンフロア化を実施し、ＪＡ内で申請事務等ワンストップサービスが対応可能に。

盛岡ブランド開発事業は、都市ブランド構築、地域活性化を図る目的で実施。分野別基本指針・主要プロジェクト・ブランドの啓発など、推進体制の確立へ取り組む。

◎ 政治家に対し、寄付を出すように勧誘や要求することは禁じられています。